

決算特別委員会（戸田芳孝委員長）を令和5年10月11日及び12日の2日間開催し、令和4年度決算について詳細な審査を行いました。
認定案件4件を審査した結果、いずれも認定すべきものと決しました。

一般会計（歳入）

質問 市税について、令和3年度と比較し、収入未済額が減少している要因は。

答弁 徴収事務において、現年課税分の滞納整理を強化し、滞納者を増やさない取り組みを行っており、そうした対応が滞納繰越額の減少につながっていると捉えている。

質問 市税における不納欠損額が減少した理由は。

答弁 令和3年度は商業施設と宿泊施設の倒産により5千4百万円ほどの即時欠損を行っているが、昨年度は高額な欠損がなかった。

一般会計（歳出）

質問 避難所機能強化事業で改善された内容は。

答弁 コロナ対策交付金を活用し、空気清浄機を整備した。

また、昨年度は、事業者から簡易授乳室の寄附があり設備の充実が図られているが、避難所については住民の意見を取り入れながら機能強化を進めたい。

質問 マイナンバーカードを利便して証明書を発行する「コンビニ交付事業」の実績と費用対効果は。

答弁 令和4年度にコンビニ等で証明書を発行した件数は1919件、全体の7・7%となった。
マイナンバーカードの普及に伴い発行件数は伸びており、今後も利便性についてPRを継続し、利用件数が増えるにつれ、費用対効果が高まっていくものと考えている。

質問 令和4年度における成年後見制度に関する対応実績は。

答弁 相談を含めた対応の実績は29件で、その内訳は、制度説明が15件、申立支援が7件、制度選択に関する相談が3件、活動支援が1件、その他が3件であった。申立支援のうち5件は令和4年度に法定後見となり、残り2件は現在審査中となっている。

質問 「かづの厚生病院支援補助金」と「かづの厚生病院医師確保対策支援補助金」の支援内容は。

答弁 かづの厚生病院支援事業を財源として救急医療の病床10床分並びに小児科医療8床分の確保に充てられている。
また、令和4年度からは地域の中核病院としての機能を確保するため、3千5百万円が追加交付され、小児科並びに産婦人科の非常勤医師に係る経費及び各診療科の非常勤医師招へいに係る旅費などを補助している。

かづの厚生病院



質問 カーボンニュートラル推進事業における、地球温暖化対策事業実行計画策定業務委託料の根拠は。

答弁 環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を財源に、公募型プロポーザルにより委託を行ったが、補助金におけるコンサル費用の上限額1千万円で設計積算したところ、応札額も同額であった。